

眼科における研修の目標、方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

基本的検査と治療方針を学ぶ。正常と異常，季節性疾患，年齢による変化を学ぶ。プライマリー・ケアを学ぶ。眼科独自の疾患を正しく診断する。全身疾患に関係のある眼科異常を正しく診断できるようにする。

2 眼科研修の特徴

検査機器の使い方を学ぶ。検査項目の組み立て方を学ぶ。治療計画を学ぶ。薬品とその使い方，治療過程を学ぶ。再診の計画を立てられるようにする。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

毎日の外来診療の中で，感染性，緊急性を正しく区別する。
入院患者を経時的に観察し，治療を組み立てていく。
救急患者に迅速な治療方針を立てる。
他科(全身疾患)以来の要点をつかむ。

4 目標達成の評価

診断，治療計画，治療過程を細かくチェックし，指導する。
問診の技術，検査結果の総合診断についてアドバイスをする。

5 検査

細隙灯顕微鏡の使い方，スリーミラー，90D。
蛍光眼底撮影で，経時的所見の撮影技術と読影。
超音波検査，その他検査の限界と精度について正しく判定できるよう個々症例で学ぶ。

6 カンファランス

病棟症例検討会
手術症例カンファランス
希少例カンファランス
学会，検討会，地方会に参加，発表

7 週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	外来及び往診	回診，レーザー，FAG，検査	回診
火	外来及び往診	回診，レーザー，FAG，検査	カンファランス
水	外来及び往診	回診，レーザー，FAG，検査	回診
木	外来及び往診	回診，レーザー，FAG，検査	カンファランス
金	外来及び往診	回診，レーザー，FAG，検査	